

## 旧プラン振り返り・意識調査結果・会議意見の 反映状況のポイントについて

### 基本目標 I

子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

目指す姿 1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

#### <振り返り>

- 引き続き子どもが幅広い人間関係を形成することができる多様な機会づくりが必要。
- 子どもたちが主体となって企画運営に参加した割合が減少傾向にあるため、より主体的に事業等の企画に関わることを促進していくことが必要。

#### 基本施策（1）コミュニケーション能力を育てる P 2 1

振り返り：引き続き子どもが幅広い人間関係を形成するための多様な機会づくりが必要。  
アンケート：保護者に対するアンケート調査では、子どものコミュニケーション能力については重要だと考える方が多い。

#### 基本施策（2）参加と意見表明の場や機会をつくる P 2 4

振り返り：子どもたちが主体となって企画運営に参加した割合が減少傾向にあるため、より主体的に事業等の企画に関わることを促進していくことが必要。  
アンケート：中高生へのアンケート調査では、町田市は子どもの意見や考えを聞いてまちづくりをすすめていると感じる中高生は42.1%と多くない。

#### 基本施策（3）子どもの悩みに対処する体制の充実 P 2 6

旧計画比較：「救済とやり直しの場や機会を保障する」を変更。悩みが深刻化する前に、より相談しやすく、また、問題を解決に導く機能の充実を記載  
アンケート：中高生に対するアンケート調査では、気軽に相談事や聞いてほしいことを話せる相手として「誰もいない」割合が7.7%、相談できるところをどこも「知らない」割合が51.8% ※子ども委員会の声を掲載

目指す姿 2 大人になっていく力をつける

#### 基本施策（1）幼児教育・保育の充実 P 3 0

旧計画比較：新たに、質の向上を図るために研修やスキルアップの取り組みを記載。  
アンケート：発達資産の集計結果

## 基本施策（２）学校教育の充実 P 3 4

アンケート：中高生へのアンケートでは7.9%の子どもが「苦手な教科の授業があるから」「友だちとうまくいかないから」などの理由で「学校生活について楽しいと思わない」「どちらかというと思わない」

振り返り：学力だけでなく、子どもの発達段階に応じて、家庭や学校や社会で積極的な意識や態度を身につけていける教育の充実が必要

また、子どもの認知や情緒を発達させ人格を形成していくため、家庭や地域での関わり方を啓発していくことが必要

前回会議意見：教育・保育施設やすみれ教室など、小学校との連携強化を記載。また、教育プランを一部掲載。

## 基本施策（４）体験活動から学ぶこと P 4 3

アンケート：市民意識調査によると、子どもが野外体験やボランティアの活動に参加した割合は減少傾向 ※子ども委員会の声を掲載

## 基本目標Ⅱ

子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

### 目指す姿 1 親子の健やかな子育て・子育てを切れ目なく支える

## 基本施策（１）親スタート期を支える P 4 6

振り返り：母子の健康確保や育児不安の軽減を図る相談・支援体制は充実が図られてきており、引き続き子どもの豊かな成長と親になる力を身につけるための切れ目のない支援を推進していくことが必要。

旧計画比較：新たに「利用者支援事業（母子保健型）」を実施し、全ての妊婦を対象に専門職が面接し、心身の状態や子育て支援のニーズを把握し、就学前まで切れ目なく支援する取り組みを記載。

前回会議意見：「乳幼児の擁護の充実」については、妊娠期からの親育ちへの支援に含めています。

## 基本施策（３）男女共同の子育てを進める P 5 2

アンケート：保護者に対するアンケート調査によると、子どもの身の回りの世話などを主に行っている人について、「主に母親」の割合が8割。

#### 基本施策（４）親の悩みを支える P 5 4

アンケート：市民意識調査では、育児について「気軽に相談できる相手がいなかった」と答えた保護者の割合は微増。保護者に対するアンケート調査では、子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることとして「子どものしつけに関すること」を始め、さまざまな悩みや心配事を抱えている

#### 目指す姿 2 親が働くことを支える

##### 基本施策（１）保育支援の充実 P 5 7

振り返り：保護者の就労を支えるため、待機児童の解消など引き続き保育サービスの質と量を確保していくことが必要。サービスの周知を図り、必要な人が適切に利用できるよう促進していくことも必要。

※「町田市子ども・子育て支援事業計画」にて推進。

##### 基本施策（２）サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実 P 5 9

旧計画比較：教育・保育サービスに対して、多様なニーズに対応するため、駅近くの利便性の高い場所で一時的に乳幼児を預かり、入所している保育所等へ送迎する「送迎保育ステーション事業」を新たに記載。

#### 目指す姿 3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

##### 基本施策（１）障がいのある子どもと家族への支援 P 6 0

振り返り：障がいのある子どもなどが増えている中、数の増加への対応だけでなく、家庭の状況などに応じたきめ細やかな支援に取り組んでいくことが必要。

##### 基本施策（２）ひとり親家族・貧困への支援 P 6 3

アンケート：保護者に対するアンケート調査では、市の子育て支援施策に期待・重要視することとして「ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実」を挙げる割合も一定数ある。

前回会議意見：施策名に「貧困」を追記。国や都と連携しながら、子育てをはじめ、生活・就業・経済面等、総合的に支援に努め、自立に向けた制度の充実を記載。

##### 基本施策（４）被虐待児と家族への支援 P 6 7

アンケート：保護者に対するアンケート調査では、市の子育て支援施策に期待・重要視することとして「児童虐待やいじめ等に対する対策の充実」の割合が一定数いる。

## 目指す姿4 一人ひとりに情報が確実に届く

### 基本施策（1）子どもと親への情報の確保 P70

振り返り：子どもや親に必要な情報が必要なときに届けられるよう、多様なメディアを活用した情報発信の充実が必要。

アンケート：保護者に対するアンケート調査では、市からの子ども・子育てに関する情報を「市のホームページ」や「メール配信」で得ている保護者の割合が多い

## 基本目標Ⅲ 子どもが地域の中で大切にされている

### 目指す姿1 人と人が関わりつながる場をつくる

<振り返り>

○子どもが自然などに親しみ学ぶ機会や、子どもやその親が交流できる場の充実は図られてきており、こうした場や機会を活用した取り組みをさらに活性化させていくことが必要。

### 基本施策（3）体験できる場 P77

アンケート：中高生へのアンケート調査では、子どもが放課後過ごす場所として、「自分の家」「部活動」「塾や習い事」が多く、「市の施設（子どもセンター、図書館、冒険遊び場）」「近所の公園」などが少ない。

### 基本施策（4）交流できる場 P79

アンケート：中高生に対するアンケートでは、放課後や休日に友だちと過ごす場所について、「のんびりできる場所」「友だちと集まっておしゃべりできる場所」「運動ができる場所」の割合が高い。※子ども委員会の声を掲載

### 目指す姿2 みんなで安全・安心のまちをつくる

### 基本施策（1）子どもの安全・安心の確保

振り返り：子育て世帯が安全・安心に暮らせる地域の環境づくりを進めていくことが一層求められる。

アンケート：市民意識調査によると、今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると思う市民の割合は減少